

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 防災啓発推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災企画係 電話番号：058-272-1111(内2840)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,825 千円 (前年度予算額：5,827 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,827	0	0	0	0	0	0	0	5,827
要求額	5,825	0	0	0	0	0	0	0	5,825
決定額	5,825	0	0	0	0	0	0	0	5,825

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和2年度から5年間を計画期間とする第2期県強靱化計画では、昨今の災害の頻発化、激甚化を踏まえ、「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図ることとしている。

被災経験のない県民にとって、災害リスクを我が事として認識することは難しく、特に県内では震度5以上の地震が50年以上発生していないため、各種媒体を活用し、県民の防災意識の向上を図る必要がある。

(2) 事業内容

小学生でも理解でき、家庭で取り組んでみようと思わせるテーマで、防災啓発テレビ番組を制作する。

制作した番組は、各種防災講座や防災イベントでの上映、動画投稿サイトでの配信など、二次利用を含め効果的に活用する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県民の防災意識向上のため県で負担する。

(4) 類似事業の有無

以下事業と連携し、効果的・効率的な事業実施を図る。

- ・防災教育推進事業費

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,825	防災啓発テレビ番組の制作・映像コンテンツ用加工
合計	5,825	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第2期県強靱化計画

第5章 強靱化の推進方針の3 (10) 「リスクコミュニケーション／防災教育・人材育成～自助・共助の底上げ～」において、「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図るため、子どもから高齢者まで全ての世代を対象に「災害から命を守る岐阜県民運動」を展開する旨を規定。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県民の「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	R元年度	R3年度	R4年度	R5年度	終期目標 (R6)	達成率
	実績	実績	実績	目標		
災害や緊急時の備えが出来ている人の割合	75%	89.7%	91.1%	75%	75%	120%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	風水害、地震等をテーマに3本の番組を作成し、番組内容を収録したDVDをイベント等で配布したほか、YouTubeでの動画配信を行った。
令和3年度	親子で学ぶ防災対策をテーマに3本の番組を作成し、番組内容を収録したDVDをイベント等で配布したほか、YouTubeでの動画配信を行った。
令和4年度	子どもの防災意識向上を目的に3本の番組を作成している。令和5年1月時点では、2本テレビ放送し、YouTubeにて動画配信を行っている。また、出前講座やイベント開催時にも活用している。
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 2	風水害の頻発化、激甚化や、近い将来に大規模地震の発生が危惧されていることを踏まえ、喫緊の必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	災害に備える県民の割合が年々増加していることから、テレビ番組の放送やYouTubeでの公開など、県民への防災啓発活動は期待以上の効果があるといえる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 1	テレビ番組は、各種防災講座や防災イベントで上映するなど、二次利用を予定し、効果的に活用することとしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 若年層を中心にテレビ離れが指摘されていることから、いかに多くの県民に視聴いただけるかが課題であり、映像コンテンツ化して各種防災講座等で利用するなど、積極的な活用を図る必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民の生命を守るための防災啓発に係る事業であることから、継続して実施する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	ぼうさいキャラバン (防災啓発推進費) 【防災課】
組み合わせで実施する理由 や期待する効果 など	映像コンテンツ化したテレビ番組をイベントで上映することで、効果的な活用が図られる。

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--